

令和7年度 事後評価シート

施策	4性別に関わりなく活躍できる雇用環境の整備
K G I	①一般労働者における男性と女性の基本給与額の差 【基準値】65.2千円（令和3年）【目標値】48.2千円

【細施策シート】

策シート】

細 施 策		04_01	労働時間の増加・フルタイム労働者の増加				担当部局		企画振興部		
							施策KGI		①		
K G I	男性の1人当たり平均月間労働時間を100とした場合の女性の労働時間の割合										
	KGI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
		R 4 年 度	目標値	84.1 %	目標値	85.4 %	目標値	86.8 %	目標値	88.2 %	
	基準値	82.2 %	実績値	80.8 %	実績値	83.7 %	実績値	81.4 %	実績値	%	
			達成率	96.08 %	達成率	98 %	達成率	93.8 %	達成率	%	
ストック/ フロー	フロー	成果進捗 評価	不調	成果進捗 評価	不調	成果進捗 評価	不調	成果進捗 評価			
7 年 度	要因分析 【必須】	人口減少・労働力人口減少に伴い女性の就業拡大が進み、県内女性の雇用者数は増加（H22:23万人→R2：25.5万人）する中、「ひめボス宣言事業所認証制度」を核とした県内企業における仕事と家庭の両立支援等の取組が進んでおり、県内女性の正規雇用率は増加傾向（H24：44.4%→R4：48.4%）にあるものの、正規雇用率は25～29歳をピークに低下するL字カーブ問題は解消されておらず、いまだ男性の正社員の割合に比べると低い（R4:80.8%）ことから、労働時間の男女間格差を縮めることには至らなかったと考えられる。									
	見直し方向性 【必須】	令和5年度より新しく制度を開始した「ひめボス宣言事業所認証制度」の推進により、男女ともに働きやすく働きがいを持って就業継続できる企業が県内に拡大しつつあること、男性の家事参画や育児取得支援の事業展開により、男性の育児休業取得や家事シェアが促進されていることから、女性の非正規から正規への雇用転換の増加も期待できるため、より一層取組みを推進する。									